

素敵な教職員の皆さんに、ONとOFFのスマートスタイルについてお聞きしていきます。

リレーでつなぐ ワーク・ライフ・バランス vol.14 work life balance

私のワーク・ライフ・バランスは、結婚と育児によって大きく変化しました。

20代は、ワークもライフも大学内での研究と教育に費やされていました。今から思えば、とてもシンプルにすごせた日々でした。

30代に入り、結婚をし、ワークとライフが別になりました。しかしそれでも夫の協力や周囲のご協力のもと、博士学位の取得ができたほどでしたから、ワーク80、ライフ20くらいだったかもしれません。しかしこれまでの生活との違いからかひどく体調を崩しました。そのような中、39歳という年齢で初めて子どもを授かりました。

芸術文化学部では、女性教員の妊娠出産のケースが無かったため、事務の方には他学部の状況を調べていただくなど煩雑な面を多く生じさせてしまいました。またワーク80で行動してきた人間が、ワーク50を切るような日々突然変化するため、学部運営、教育体制、施設管理の面など、私自身のストレスだけでなく周囲の方々にもさまざまなストレスを与えたと思います。

また我が家の事情から、産前産後休暇と数か月間のみ短時間勤務制度を利用しました。頼れる家族など富山県内に無い状態のため、まだ首も座らない2か月未満のわが子を保育園に預け、保育園の先生たち、ご近所、職場の仲間からさまざまな知識を与えていただきながら育児をしてきました。また友人たちから御下ごりの衣類もたくさん提供してもらいました。

そのような中、現在に至るまで、妊娠、出産、育児の面白さを実感しています。それは単にわが子に焦点をあてている意味ではなく、研究に没頭しているだけでは出会えなかった人や文化に対する気付き

ON style
芸術文化学部
講師
ペルトネン 純子

略歴
東京都生まれ。1998年4月高岡短期大学助手。2003年8月～2004年7月、文部科学省在外研究員としてフィンランド・ラハティポリテクニク(現在ラハティ応用科学大学)に滞在。2015年1月～(現在)富山大学芸術文化学部講師。学位:芸術学博士(東京芸術大学大学院)



ができていくからです。また夫がフィンランド人のため、夫婦や家族の過ごし方に対する大きな文化の違いも感じることができるからです。そうした気付きが、私の現在の研究に大きく影響しています。現在のところワーク50、ライフ50と私はとらえていますが、その変化は学部にとって、混乱や不安を招いているかもしれません。しかし幸いなことに、授業評価アンケート結果は良好で、学生にとっては良い影響になっているようです。

ワーク・ライフ・バランスに関する考え方や知識は、国際交流を通して知り合う女性研究者たちと、雑談としてよく話題にします。この話題を通して互いの研究立場や、国の施策の違いを理解しあえる契機になっています。世界中の女性が、自分らしいワーク・ライフ・バランスを模索していることを知るたび、心に少し勇気がわいてきます。私のワーク・ライフ・バランスは、まだまだ試行錯誤の毎日ですが、できる限り、ふつうでいられることを心がけていきたいと思っています。

実家の母が孫を撮影しようとしたところ、偶然私が映ってしまった写真です…



数字で見る 富山大学のいろいろ

富山大学の女性教員比率の推移

右の表は、平成28年5月1日現在の富山大学の女性教員数比率を学部別・職階別に示したものです。全体の女性教員比率は昨年の17.8%に比べ、今年は18.8%に増加しました。学部別に見ると、文系学部の女性教員比率は15.2～25.4%と比較的高いのですが、理学部と工学部ではまだまだ低い状態です(2.9～6.7%)。薬学系は11.8%で中間的な位置にありました。医学系では医学部・附属病院の女性助教の人数と看護学科が多いため26.0%と高くなっています。職階別にみると、教授における女性比率が一番低く11.4%となっています。

表には載せていませんが、管理職についても133名のうち女性13名(9.8%)でわずかながら増加しました(平成27年は9.7%でした)。今後も少しずつ着実に女性教員の活躍の機会が増えるよう取り組んでまいります。

各学部等の現員数 (平成28年5月1日)

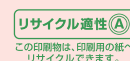
(単位:人)

		教授		准教授		講師		助教		助手		合計		女性比率(%)	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		
文系	人文学部	25	10	19	5	0	0	0	0	0	0	44	15	59	25.4
	人間発達科学部	25	4	17	8	2	3	0	0	0	0	44	15	59	25.4
	経済学部	33	3	18	5	2	1	0	0	0	5	53	14	67	20.9
	芸術文化学部	18	0	16	3	4	4	1	0	0	0	39	7	46	15.2
理系	理学部	35	2	24	2	4	0	7	1	0	0	70	5	75	6.7
	工学部	42	1	31	0	14	1	13	0	2	1	102	3	105	2.9
	薬学部	17	1	20	1	1	0	14	4	0	0	52	6	58	10.3
	和漢研	6	1	9	1	0	0	8	2	0	0	23	4	27	14.8
医学系	医学部 医学科	43	1	21	7	5	1	67	24	1	1	137	34	171	19.9
	看護学科	2	6	1	10	0	0	1	12	1	0	5	28	33	84.8
	附属病院	4	0	8	0	28	6	43	11	0	0	83	17	100	17.0
各種センター等	23	6	19	7	2	1	3	0	0	0	47	14	61	23.0	
合計	273	35	203	49	62	17	157	54	4	7	699	162	861	18.8	
職別女性比率(%)		11.4		19.4		21.5		25.6		63.6		18.8			

編集後記
ニュースレターは、創刊から5年目を迎えました。今回も編集メンバーの協力により、男女共同参画を推進するための制度やセミナーの紹介など、たくさんの記事をお届けしました。このニュースレターが、ワーク・ライフ・バランスの実現に向けて、皆さんのお役に立つことを願っています。より詳しい情報は、男女共同参画室のホームページに掲載していますので、あわせてご利用ください。
富山大学男女共同参画推進室News Letter編集メンバー
米川 寛 澤田 哲生 小林 かわり 澁谷 伸子 市田 露子 呉人 恵 東田 千尋 飯野 るみ子 南村 有輝子 竹岡 美樹 平尾 隆 小川 友美 甲斐田 直

発行
富山大学男女共同参画推進室

〒930-8555 富山市五福3190
E-mail smart@ctg.u-toyama.ac.jp
TEL 076-445-6146 / FAX 076-445-6063
URL http://www3.u-toyama.ac.jp/kyodoss/



富山大学男女共同参画推進室

News Letter

Office for gender equality, University of Toyama

TOPICS

- 新メンバーの紹介 ■ 活動報告 ■ お知らせ
- 今注目のことば ■ リレーでつなぐワーク・ライフ・バランス
- 数字で見る 富山大学のいろいろ

2016.7
第14号



男女共同参画推進委員会 新メンバーのご紹介

人事異動に伴い、4月より3名の新メンバーをお迎えしました。

全学の男女共同参画推進のため協力してまいります。

どうぞよろしく申し上げます。

総務部長 鈴木 成巳
図書館情報課 課長補佐
松島 珠喜 (五福キャンパス職員)
芸術文化学部総務課 係長
河口 早百合 (高岡キャンパス職員)

男女共同参画推進体制とワーキンググループのご紹介

学長の下、男女共同参画担当学長補佐が男女共同参画推進委員会委員長として全学委員会を招集しています。なお、今年度は、ニュースレター、啓発事業、数値管理、アンケートの4つのワーキンググループを設け事業を展開していきます。

学長補佐は、男女共同参画推進室長を兼務し、2名の副室長、1名のコーディネーター、3名の事務補佐員、1名の介護コンシェルジュとともにダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(特色型)事業を推進するほか、各種支援策の実施等を統括しています。また、4月より総務部人事企画課課長補佐が男女共同参画推進室の専従として加わり、男女共同参画推進体制が一層強化されました。

女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づく 「国立大学法人富山大学 行動計画」策定

本学は、女性が活躍できる職場環境の整備を行うため、次のような行動計画を策定しました。

- 計画期間:平成28年4月1日～平成34年3月31日(6年間)
- 本学の課題:女性の能力発揮・キャリア形成が難しい。
- 定量的目標:・教育職員に占める女性割合25%(女性教授比率15%)以上の達成を目指す。
・役員及び部局長等に占める女性割合15%(事務系女性管理職比率10%)以上の達成を目指す。
- 取組内容:「意識を変える、組織を変える、環境を変える」を行動目標として各種取組を実施する。

なお、詳細は以下のURLをご参照ください。

<https://www.u-toyama.ac.jp/outline/public/action-plan/index.html>

活動報告

文部科学省科学技術人材育成費補助事業 ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(特色型) 平成28年度学内各種公募事業採択結果

男女共同参画推進室とは別の審査会(審査員7名)による厳正なる審査を経て下記のように採択を決定しました。

- ①女性研究者の短期留学助成金: 3件(アイルランド1件、オーストラリア1件、中国1件)
- ②女性研究者による国際シンポジウム企画・開催助成金: 5件
 - 平成28年8月中旬 「北朝鮮脱出者の文学活動と韓国文壇―「脱北者」による記録文学の現状と課題―」(人文学部)
 - 平成28年11月 国際芸術交流シンポジウム「アートとコミュニケーションをめぐって(仮)」(芸術文化学部)
 - 平成29年2月 「グローバル社会における外国語教育の在り方」(国際交流センター)
 - 平成29年2月 「教員養成系学部の教育の質向上を目指した日韓共同シンポジウム」(人間発達科学部)
 - 平成29年3月上旬 「精神疾患・薬物依存・肥満・疼痛へ―新規分子Shati/Nat8Lの多彩な機能について―」(大学院医学薬学研究部(薬学))
- ③ライフイベント復帰者へのスタートアップ支援: 5件
- ④ライフイベント中の女性研究者への研究サポーター制度: 5件
- ⑤時間外・休日保育及び病児・病後児保育利用料補助制度: 9件

平成27年度本事業により 国際シンポジウムが開催されました

①「国際ビジネスの法的地平を臨む」

- 企画運営者: 神山 智美(経済学部准教授)
- 開催日時: 平成28年1月30日(土)、31日(日)
- 開催場所: 富山国際会議場(30日)、五福キャンパス経済学部(31日)
- 参加者数: 60名(30日)、50名(31日)



②「日本語・日本語教育研究のグローバルな担い手たち―帰国した留学生たちの今―」

- 企画運営者: 山崎 けい子(人文学部教授)
- 開催日時: 平成28年2月14日(日)
- 開催場所: 五福キャンパス人文学部
- 参加者数: 72名



③How Humans Evolved Supersize Brains – The Growth of the Brain –

- 企画運営者: 松井 三枝(大学院医学薬学研究部(医学)准教授)
- 開催日時: 平成28年3月28日(月)
- 開催場所: 杉谷キャンパス 日医工オーデトリウム
- 参加者数: 約70名



平成27年度本事業により 英語スキルアップ・セミナー が開催されました

①第1回英語スキルアップ・セミナー 「世界と繋がる英語によるEメール・コミュニケーション」

- 講師: リンクサイエンス代表 川上 輪子 氏
- 開催日時・場所: 平成28年3月3日(木) 五福キャンパス黒田講堂会議室
平成28年3月4日(金) 杉谷キャンパス講義実習棟401
- 参加者数: 27名(五福キャンパス)、29名(杉谷キャンパス)



②第2回英語スキルアップ・セミナー 「英語論文ワークショップ ―基礎編・実践編―」

- 講師: リンクサイエンス代表 川上 輪子 氏
- 開催日時・場所: 平成28年3月22日(火)、24日(木) 杉谷キャンパス講義実習棟402
平成28年3月24日(木)、25日(金) 五福キャンパス学務部会議室1階A11
- 参加者数: 35名(基礎編)、34名(実践編)(杉谷キャンパス) 26名(基礎編)、24名(実践編)(五福キャンパス)

新たな取り組み! 第1回・第2回介護セミナー開催

本事業における新たな取り組みとして、「介護セミナー」が始まりました。1回目のテーマは、「地域包括支援センターの役割と効果的な利用法」。講師には、神明・五福地域包括支援センター管理者で、主任介護支援専門員の吉崎るみ子氏をお迎えし、豊富な事例を基に講演いただきました。参加者からは、「地域包括支援センターの名称は聞いたことがあったが、具体的な取り組みを知らなかったので勉強になった」「介護は身近な問題なのでもっと多くの人に聞いてもらいたい」という声をいただき、介護の現状を肌身で感じる絶好の機会となったようです。

第2回介護セミナーは、神明・五福地域包括支援センター社会福祉士、本田理恵子氏を講師に招き、昨年度から施行された改正介護保険制度のポイントと効果的な利用法を学習しました。昨年の改正では、地域包括ケアシステムの構築を通じ、医療及び介護の一体的な推進が謳われました。新しい介護保険制度の学びを深めることを通して、家族介護を乗り切るきっかけとしたいものです。

第1回 セミナー

- 開催日時: 平成28年3月18日(金) 15:30~16:30
- 開催場所: 五福キャンパス 黒田講堂会議室
- 参加対象: 本学教職員、学生

第2回 セミナー

- 開催日時: 平成28年6月24日(金) 15:30~16:30
- 開催場所: 五福キャンパス 学生会館2階 多目的利用室
- 参加対象: 本学教職員、学生

富山大学教職員対象 ワーク・ライフ・バランス アンケート実施



平成27年度本事業を進めるにあたり、教職員の現状を把握し、課題を明確にすることが重要と考え、教職員を対象としたアンケートを実施しました。調査報告書にまとめられた分析結果は、今後の事業推進に活用されます。



お知らせ

平成28年度研究サポーター制度 前期利用者決定 ~前期採択者は8名~

研究サポーター制度は、平成21年度に女性研究者の教育・研究活動の環境整備の一環として開始されました。当初は全て育児が理由の申請でしたが、現在は介護も申請の対象としています。年2回の公募に加え、平成26年度からは、突発的な理由で支援が必要になった場合も申請が可能になりました。今年度は、女性研究者には左記事業の補助金で、男性研究者には学内経費で育児と介護に対する支援をしています。前期の利用は、男性教員8名です。

ベビーシッター・休日保育利用料補助制度

教育・研究・入試業務と育児の両立を図るために通常保育以外を利用した教職員に、助成を行っています。

この制度は、事前申請・立替払いによる支援です。利用者を随時募集しておりますので、詳しくは下記URLをご覧ください。

http://www3.u-toyama.ac.jp/kyodoss/seido_b.html

介護コンシェルジュ活動紹介

介護コンシェルジュの平尾氏が着任してから早くも半年が経ちました。メールでの相談が徐々に入ってきています。介護を担うと、仕事が終わって帰宅しても、介護という1日の第2ラウンドが始まります。「しんどいな」と思う反面、介護が必要になった家族に長生きしてほしいという気持ちが同時にでてきます。

介護コンシェルジュは、配偶者を介護して18年目に入った現在進行形の介護者です。日頃、他者に話すことができない介護にかかわる葛藤や苦しみを思いっきりぶつけてください。



介護コンシェルジュ活動内容

- ①相談業務の実施(相談先: hirao@ctg.u-toyama.ac.jp)
- ②介護コンシェルジュニュースの配信
「介護コンシェルジュニュース」を月一回、学内グループウェア内の学内掲示板で配信しています。
- ③介護セミナーの実施

知
っ
て
る
?
そ
の
意
味
今注目のことば

第7回 ダブルケア

ダブルケアとは、狭義には育児と介護の同時進行を意味しますが、広義には、夫や自分のケア、障がいを持つ兄妹など家族・親族の複数のケアの関係を指します。平成28年4月内閣府男女共同参画局「育児と介護のダブルケアの実態に関する調査」によると、ダブルケアを行う人は女性約17万人*、男性約8万人*と推計されており、30~40歳代が多く、男女ともに全体の約8割を占めています。育児、介護それぞれだけでも大変ですが、両方が重なるとより大変です。

*この調査では育児の対象を未就学児(小学校入学前の幼児)の子のみとし、孫などは含まれません。介護の対象については、当初述べたとおり家族や自分、自分の子(小学生以上)、兄弟姉妹等を含み、なおかつ被介護者の続柄を問いません。

1 ダブルで遅い... ダブルで速いんじゃないの?

2 大変だね。うーん、スマホのことじゃなくて... 実はずっとダブルケアしてきて、全部のことが遅くて...

3 育児と介護で疲れる時間も遅いし、自分の仕事もはかどらないし、お金もダブルでかかるし、ダブルのダブルかな。大丈夫かな? それってトリプルかも。相当ストレスたまってるなあ...

4 介護は... おまかせ! もう情報収集していると思うけど、介護コンシェルジュにメールで相談してみたら? そういうのもできたんだよね。忙しいけど聞いてみようかな。

夏季学童保育 今年も男女共同参画推進室主催の 夏季学童保育を行います

教職員が養育する小学生を対象とした夏季学童保育を今年も開催いたします。会場等の都合で、昨年よりも開期が短くなりましたことにご留意ください。詳しい内容につきましては、学内グループウェアや部局を通じてご案内いたします。皆様のお申し込みをお待ちしております。

- 開催日: 平日の5日間 五福キャンパス 7月25日(月)~7月29日(金)
平日の5日間 杉谷キャンパス 8月1日(月)~8月5日(金)
- 会場: 五福キャンパス 黒田講堂会議室
杉谷キャンパス 看護学科研究棟3階研修室
- 申込受付期間: 7月4日(月)~7月8日(金)
- 問い合わせ先: gakudo@ctg.u-toyama.ac.jp

第3回介護セミナー 「若者が家族の介護を担うとき...」

3回目の介護セミナーは、近年注目されはじめた若年介護者への支援がテーマです。今回は、若くして介護を経験した講師から、若年介護者の現状や課題およびニーズに合わせた支援のあり方を介護者の視点から語っていただき、問題解決の糸口を探ります。

- 日時: 平成28年7月26日(火) 15:00~16:30
- 会場: 富山大学五福キャンパス 学生会館1階ホール
- 参加費: 無料
- 対象: 本学教職員、学生、一般
- 内容: 基調講演「若者の人生における仕事と介護」
松崎 実穂氏: 19歳で祖父を介護
(国際基督教大学ジェンダー研究センター/研究所助手)ほか